

2022年11月1日

報道関係各位

一般社団法人日本リノベーション・マネジメント協会

代表理事 岡 廣樹

東京都千代田区麹町2丁目10番地3

2022年度 WEB講習の実施について

ホワイトファイル事業

日本リノベーション・マネジメント協会連携体

平成28年度 国土交通省 地域建設産業活性化支援事業

①RM協会認定資格者養成講習

②建設系CPDプログラム対象講習

募集期間

2022年11月 7日（月）～ 2023年3月31日（金）

講習期間

2022年11月21日（月）～ 2023年4月14日（金）

一般社団法人日本リノベーション・マネジメント協会（以下「RM協会」という）では、2020年度から新型コロナウイルスの感染拡大を受け、対面の各種講習に代わり、WEB講習（以下「本講習」という）を導入し実施してまいりました。なお、本講習は、「平成28年度 国土交通省 地域建設産業活性化支援事業 ホワイトファイル事業」でのホワイトファイルセミナーの一環として行うものです。

多様化した社会において新しい課題に的確に答えていくためには、専門とする技術領域はもとより、幅広い領域で奥行き深い技術を習得していくことが必要です。これを受け、本講習では、①RM協会認定資格者養成講習と②建設系CPDプログラム対象講習の2種類のもを提供いたします。

特に②建設系CPDプログラムについては、CM方式・RM方式、経営学、価格開示方式等の講義を建設系CPDプログラムに対応したことにより、幅広く、横断的に建築マネジメント教育プログラムを提供できるよう開発いたしましたので、ご活用下さい。

国際化の進展や国内の雇用情勢の変化等により、技術者の継続教育（CPD：Continuing Professional Development）の必要性が広く認識されるようになってきました。私たち技術者にとって、生涯にわたり技術者としての義務を果たし責任を全うしていくためには、常に最新の知識や技術を修得し、自己の能力の維持・向上を図ることが不可欠です。大学等における基礎教育もさることながら、実社会に出てからの実務を通じた修習や資格取得後の学習が技術者の成長にとって必要であることは、言うまでもありません。

① RM協会認定資格者養成講習（CPD対象外）	
資格講習名	講習数
認定マンション・リノベーション・マネジャー養成講習	22＋試験
価格開示方式監理技術者養成講習	15＋試験
価格開示方式主任技術者養成講習	10＋試験

② 建設CPDプログラム	
コース名	CPD単位
大規模修繕マネジメントコース	22
経営マネジメントコース	16
建築マネジメントコース	5
マンション管理コース	6
価格開示方式コース	13

●ポイント：WEB講習

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、国内各所で行う予定の対面での各種講習を取りやめ、WEB講習を行うことといたしました。

●国土交通省 地域建設産業活性化支援事業

本講習は、平成28年度 国土交通省 地域建設産業活性化支援事業 ホワイトファイル事業の一環として行うものです。

●ポイント：建設系CPDプログラム

本講習は、建設系CPDプログラム対象としました。

私たち技術者にとって、生涯にわたり技術者としての義務を果たし責任を全うしていくためには、常に最新の知識や技術を修得し、自己の能力の維持・向上を図ることが不可欠です。この度、RM協会では、CM方式・RM方式、経営学、価格開示方式等の講義を建設系CPDプログラムに対応したことにより、幅広く、横断的に建築マネジメント教育プログラムを提供することといたしました。

●ポイント：RM協会認定資格者養成講習（CPD対象外）

1. 認定マンション・リノベーション・マネジャー

価格開示方式®によるマンション大規模修繕の実施を担う「マネジメント人材」のための資格です。

2. 価格開示方式監理技術者

価格開示方式®によるマンション大規模修繕の実施を担う「監理技術者（元請会社）」のための資格です。

3. 価格開示方式主任技術者

価格開示方式®によるマンション大規模修繕の実施を担う「主任技術者（専門工事会社）」のための資格です。

一般社団法人 日本リノベーション・マネジメント協会

本 部 東京都千代田区麴町2丁目10番地3

Tel: 03-4405-0780

Email: honbu-info@rma-j.or.jp (本部)

honbu_Sikaku@rma-j.or.jp (資格担当)

東日本統括支部 東京都千代田区麴町2丁目10番地3

西日本統括支部 大阪府大阪市中央区瓦町4丁目2番14号 京阪神瓦町ビル

【補足説明その1】

RM協会は、2013年よりあらゆる情報を管理組合に開示して透明性を高め、工事品質を確保しながらコストの最適化を図ることができる「価格開示方式®」を提唱し、普及活動を行っております。

価格開示方式®の特徴は、リノベーション・マネジャーがマンション大規模修繕プロジェクトにおいて、発注者を支援・助言し、情報開示、コスト構成の透明性、発注者のリスクの低減を主導することです。

また、価格開示方式®は、施工現場において「コストプラスフィー契約」「オープンブック方式」を実践することです。

価格開示方式®には、大規模修繕のマネジメントの実施、工事の実施において、透明性を持って行う複数の職能人材が必要です。

それが、認定マンション・リノベーション・マネジャー、価格開示方式監理技術者、価格開示方式主任技術者の職能です。

さまざまな問題が顕在化しているマンションですが、中でもマンション大規模修繕においては、修繕費の高値安定、修繕積立金不足、さらに、二つの老いも相まって、管理組合員の負担が増幅しています。それらの問題を補完するためにも「透明性のあるマネジメント」手法の導入が必要不可欠な状況となっています。

2017年には、国土交通省通知により、不適切な設計コンサルタントの存在が明るみにでました。この問題の抜本的な解決策の一つがマネジメント職能の業務の明確化です。このマネジメント職能を備えた者が「認定マンション・リノベーション・マネジャー」です。また、実際の大規模修繕工事では、「透明性のあるマネジメント」に裏打ちされた施工を実践する職能が必要となります。元請会社における「価格開示方式監理技術者」、専門工事会社における「価格開示方式主任技術者」がその職能に該当します。

価格開示方式®と従来の実施方式の違いは、体系的に整備され、職能・業務が明確化されていることにあります。「マネジメント業務」を適切に行うことで不適切な問題の解決への第1歩となります。

次に、倫理性を担保するのがRM協会のオープンブック監査と倫理規定の存在です。

不正が起こりにくいシステムを整備した価格開示方式®を採用することにより、健全な大規模修繕が実現できます。

このような背景を踏まえ、RM協会では、不足するマネジメント職能人、施工職能人の育成・確保を目的として、3つの資格の養成講習を開催します。各資格は、マンション大規模修繕の設計コンサルタントの方、元請会社の監理技術者、専門工事会社の主任技術者の方などには最適な資格です。

【補足説明その2】

本講習は、「平成28年度 国土交通省 地域建設産業活性化支援事業 ホワイトファイル事業」でのホワイトファイルセミナーの一環として行うもので、建設系CPDプログラムの対象となります。

なお、連携体として「CPDプログラムの認定・公開講習会等実施者」であるRM協会が提供する本講習は、下記のCPD制度の共通認定プログラムです。

- ・ 建築 CPD 情報提供制度
- ・ JIACPD 制度
- ・ 建築士会 CPD 制度
- ・ 建築設備士関係団体 CPD 制度
- ・ APEC アーキテクト
- ・ APEC エンジニア
- ・ 建築・設備施工管理 CPD 制度